



オンライン交流会
【夜カフェ☆山都町オープン！】のようす

新型コロナウイルス感染拡大の影響により地方への移住志向が高まる中、移住を検討している方が増えています。都市居住の方へ対話を通して町の魅力、生活のイメージを持ってもらうため、11月18日に『夜カフェ☆山都町オープン！オーガニックの町で暮らす人たち 2021』と題してオンラインでの交流会を行いました。

このオンライン交流会は今年で2回目で、今回は3名の先輩移住者に登場いただき、「熊本に魅せられて（藤本真美さん：入佐）」、「有機農業研修中（谷藤晃宏さん：米生）」、「IT企業で活躍中（前島大和さん：浜町）」のテーマで交流しました。

都市居住者を中心に13人の方が参加し、山都町からは有機農業の取組やSDGs未来都市の紹介をしました。

有機農業や女性一人での移住経験を前面に立てた交流会は吸引力があり、先輩移住者へ沢山の質問が寄せられました。

山都町東京事務所は他にも企業とのパートナーシップを積極的に行い、山都町を世界へ発信しています。

2018年の東京事務所主催のツアーで来町したA kitchen（株式会社A）の新納平太シェフは、キッチンカーやケータリングで山都町の素材を使った料理を提供し、マルシェでは野菜や加工品を販売しています。



東京都で毎年行われるマルシェ【目黒街角クリスマス】には山都町の野菜が並び

問合せ先 山の都創造課 ☎ 72-1158

山都町地域おこし協力隊活動だより vol.5



【自己紹介】

氏名：今村 忠司（いまむら ただし）

出身：福岡県

趣味：ドライブ、旅行、料理

活動場所：鮎の瀬交流館

以前はイオン系列のスーパーで青果の販売、総菜、弁当の製造販売に携わっていましたが、地域おこしに興味を持ち、調べていましたところ、山都町ホームページにて地域おこし協力隊募集の記事を拝見し、今までの経験を活かして、地域活性化のために何かできないだろうかと思い、「鮎の瀬交流館」に応募しました。

山都町の好きなところは自然豊かな緑の山々と、そこから流れる綺麗な水です。

（冬は寒いですが…。）また、活動場所である鮎の瀬交流館の近くには緑川流域に架かる鮎の瀬大橋があり、橋から眺める谷の風景は季節によって様々な姿を見せてくれます。

隊員として活動始めて1年が過ぎましたが、分からないことは菅地域の方々優しく教えていただくので、毎日が勉強になり、やりがいがあります。

コロナ禍ではありますが、この機会に身近な地域の魅力を再発見してみませんか？ぜひ、鮎の瀬交流館へ足をお運びください。

鮎の瀬交流館 営業時間：9時～15時（定休日：水・木曜日）

